

日本学術会議 基礎医学委員会/臨床医学委員会合同法医学分科会 (第 24 期・第 4 回)
議事録

日時： 令和元年 9 月 29 日 (月)

意見交換: 令和 元 年 9 月 18 日 (水) ～ 令和 元 年 9 月 27 日 (金)

会議形態: 日本学術会議 公式メール会議

<https://www.scjbbs.go.jp/bbs/>

基礎医学委員会・臨床医学委員会合同 法医学分科会 (CL)

出席者: 鮎澤純子、木田真紀、末松 誠、田中純子、中山淳、西谷陽子、橋本優子、藤田眞幸、保正友子、増田しのぶ、松本博志 (敬称略、計 11 名)

議事:

藤田委員長から議事の概要(資料 1A)と議事進行内容(資料 1B)が示され、これに沿って、以下の内容につき、意見交換・審議が行われた。

(1) 前議事要旨案の承認について (資料 2)

藤田委員長から、前回議事録(案)が提示された。鮎澤委員からの提案を受け、アンケートの最終目的が、「医学部医学科の学生や研修医が卒業後の進路をどのような視点から決定しているかを調査し、よりの確な進路選択につなげると同時に、法医学分野に適正の高い優秀な人材の獲得に役立てる」ことであるということが再確認された。一部修正を行い、最終案が確定した(資料 2B: 審議終了後)

(2) 法医学のリクルートに関わるアンケートについて

藤田委員長が2019年8月8日～9月5日に、慶應義塾大学病院の初期研修医を対象に実施した、予備調査アンケートの内容(資料 3)とその実施状況・集計結果の概要(資料 4)が示された。

(3) 予備調査アンケートの集計結果を踏まえた本調査について

藤田委員長から、集計結果を踏まえて、本調査についての提案がなされ、意見交換が行われた。

ア 集計結果に基づく考察 (資料 4)

学生が、進路として法医学を考える上で、必ずしも正確な情報に基づかないで判断している可能性が示唆されており、それについて検証できるような選択肢を検討する必要性が、鮎澤委員から指摘された。質問の数は、現状程度が妥当とされた。

イ 対象

卒業生追跡調査ができれば良いが、個人情報保護の問題もあり、同窓会から送付先を教えてもらうことが困難な面があること、一方、大学に在籍している研修医や医学生からは、データが取りやすいことが説明された。

ウ 実施時期

今回の調査で、研修医2年次の夏には80%の者が進路を決定していることが示唆された。できるだけ、各委員の所属大学で、進路決定前/後など、時期を統一するのがよいが、何らかのイベントで対象者が集まるときの関係も重要であることが説明された。

エ アンケートの内容

本メール会議での意見をもとに、藤田委員長が本調査の試案を作成し、第5回法医分科会で最終決定することとなった。

オ 実施方法

今回の予備調査で、最も回収率の高いイベントでの配布・時間内回収のほか、Google フォームなどのWEB入力が効果的であることを示唆する結果が得られた。ただし、紙で記入して回答した人と、Googleフォームで回答したとの間に生じるバイアス等については、検討しておく必要があること、セキュリティ、プライバシー(回答者のメールアドレスがわからない設定にしないといけないか)などについての議論も必要であることが説明された。

(4) 次回開催予定

以下の日程で第5回会議を開催し、最終案を確定することが確認された。

日時 令和元年10月29日(火) 14:00~16:00

場所 日本学術会議

(5) 次々回開催予定

第6回会議を令和2年2月頃に開催予定として、申請中(但し、メール会議もしくはビデオ会議となる可能性もあり)であることが、意見交換終了時に伝えられた。